

K7系近郊型電車をリニューアルします！

関鉄西日本

いつも、関鉄西日本をご利用いただきありがとうございます。

関鉄本線などを走る K7 系近郊型電車は、旧関鉄河内線（現：JR 西日本 関西本線 天王寺～柏原間）での快速運行を開始するために、平成 1 年度～3 年度までに 118 両を製作しました。

しかし、路線撤退に伴い 4 両編成 16 編成を残すすべての車両を団体用として改造しました。

そして、すでに新製から 25 年以上が経過していることから、安全性向上対策やバリアフリー対応の充実などを目指したリニューアルを行います。

詳細

1 リニューアル予定車両数

K7 系 0 番台近郊型電車 4 両編成 16 編成 計 64 両

2 主なリニューアルの概要

(1) 外見

- ・来年度ダイヤ改正時より和歌山～大阪・新大阪間の阪和会則での使用を予定しているため、塗装を関空線カラー（紺色）から紀伊線カラー（黄色）に変更します。

(2) 客席内の安全性向上

- ・つり革、握り棒をとっさの際につかまりやすい色・大きさに変更

(3) バリアフリー対応

- ・トイレを車いす対応に大型改良
- ・車いすスペースを新設
- ・出入口上部に、次駅案内表示器（電光式）を新設
- ・ドア開閉時の注意を促すため、ドア開閉チャイムを新設

(4) 訪日外国人への配慮

- ・自動放送を採用し、日本語・英語の 2 カ国語に対応します。
- ・案内ディスプレイを新たに車両中間部 2 カ所（4 画面）に設置します。日本語・英語・中国語・韓国語の 4 カ国語に対応します。

(5) その他

- ・乗降をスムーズにするため、出入り口付近の座席を補助席付座席に変更します。
- ・電光掲示板、列車種別表示をフルカラーLEDに変更します。
- ・VVV-F インバータも老化しているため最新の機器に変更します。